

平成30年

別府市特別功労表彰



11月3日「文化の日」、別府市は市政の振興、公共の福祉増進や文化の向上などに貢献された方の功績をたたえ表彰しました。「特別功労表彰」を受賞された7人の方々、「功労表彰」を受賞された38人3団体のの方々を紹介します。(順不同)

林 三男さん



平成22年から別府市老人クラブ連合会副会長、平成27年からは会長として会員増強や事業内容の充実のため部会を再構築し、役員・会員の関係を密にするよう努められている。また、行政・関係機関との連携を深め、社会に貢献できる市老連づくりに尽力された功績は多大であり、その誠実な姿勢から多くの人の信頼を集めている。

油布 昌孝さん



別府竹製品協同組合主催の後継者育成事業の講師を20年にわたり務め、多くの弟子の育成に貢献された。平成15年からは同組合理事長として積極的に若手後継者の育成に尽力され、組合員増加の礎を築き、現在も組合青年部相談役として、伝統的工芸品である別府竹細工の振興と、竹細工を生業とする者の養成に寄与されている。

加川 英輔さん



平成16年に民生委員・児童委員に委嘱され、平成22年からは別府市民生委員児童委員協議会会長として6年にわたり協議会の運営に努められ、地域住民と積極的に関わり、社会福祉の増進に貢献された。現在は境川地区会長として地区の運営に尽力されている。(11月9日)逝去されました

山名 睦子さん



平成6年に養護学校卒業生の就労場所として自宅に「藍共同作業所」を開設。平成13年に精神障がいのある人と知的障がいのある人の受入れを開始し「社会福祉法人青藍会」を発足。現在は理事長として、身体的・精神障がいのある人のための就労場所を提供し、社会福祉の増進に貢献されている。

明石 光伸さん



平成12年から別府市環境保全審議会会長として審議会を統括し各委員の意見集約に努められ、環境に関する重要事項の調査審議に寄与された。また、17年にわたり別府市教育委員会委員として別府市の教育の推進に貢献され、常に市民目線に立ち、住民ニーズに合った柔軟な体制の確立や教育内容の充実に努められた。

中島 一志さん



平成20年から別府市青少年育成市民会議会長として、市内17校(地)区の青少年育成協議会が地域の実情に即した特色ある活動を展開できるよう尽力され、青少年の健全育成に寄与された。また南立石校区青少年育成協議会会長としてどんと焼きを開始し、青少年と大人、各町の交流の場を提供し地域づくりの推進に努められた。

河野 章さん



平成13年に別府市管工事協同組合の理事に就任し、業界のイメージアップや地元産業の活性化に尽力された。平成23年からは代表理事として円滑な運営の確保に努めながら、労働者の雇用促進や雇用環境改善に中心的な役割を果たし多大な貢献を果たすと共に、別府市の産業経済振興にも寄与された。

平成30年

別府市功労表彰

(敬称略・順不同)

自治部門

佐藤静 諸岡幸一 星野隆昭

伊東一仁 幸勝美

公共福祉部門

岩尾一郎 竹本善次 瑞木一博

中野大 伊藤秀憲 竹内孝夫

姫野正康 村田広子 上野浩道

清水一正 脇英機 高橋洋明

三浦康法 野河和子 菊隆志

上野美好 石見友子 大山直

後藤正己 藤原信一 村井良一

園田喜久男 齊藤金次 後藤辰典

園田文丸 首藤哲生 平子政実

小野文夫 直野耕治 八坂憲一

別府竹製品協同組合

別府発達医療センターボランティアの会

教育・文化・スポーツ部門

三木武夫

別府市老人クラブ連合会荘園荘寿会

市民活動部門

藤本広子 岩崎俊臣

特別功労表彰

氏名 (敬称略)	林 三男
役職等	別府市老人クラブ連合会会長
功績内容	平成17年から別府市単位老人クラブ会長、平成20年から南立石校区老人クラブ連合会会長を務められる中、平成22年から別府市老人クラブ連合会副会長、平成27年からは会長として会員増強や事業内容の充実のため部会を再構築し、役員・会員の関係を密にするよう努められている。また、行政・関係機関との連携を深め、高齢者組織として社会に貢献できる市老連づくりに尽力された功績は多大であり、その誠実な姿勢から多くの人の信頼を集めている。

氏名 (敬称略)	油布 昌孝
役職等	別府竹製品協同組合青年部相談役 前別府竹製品協同組合理事長
功績内容	別府竹製品協同組合主催の後継者育成事業の講師を20年にわたり務め、多くの弟子の育成に貢献された。平成15年からは同組合理事長として積極的に若手後継者の育成に尽力され、組合員増加の礎を築き、現在も組合青年部相談役として、伝統的工芸品である別府竹細工の振興と、竹細工を生業とする者の養成に寄与されている。

氏名 (敬称略)	加川 英輔
役職等	民生委員児童委員境川地区会長 前別府市民生員児童委員協議会会長
功績内容	平成16年に民生委員・児童委員に委嘱され、平成22年からは別府市民生委員児童委員協議会会長として6年にわたり協議会の運営に努められ、地域住民と積極的に関わり、社会福祉の増進に貢献された。現在は境川地区会長として地区の運営に尽力されている。

氏名 (敬称略)	山名 睦子
役職等	社会福祉法人青藍会理事長
功績内容	平成6年に養護学校卒業生の就労場所として自宅に「藍共同作業所」を開設。平成13年に精神障がいのある人と知的障がいのある人の受入れを開始し「社会福祉法人青藍会」を発足。現在は理事長として、身体・知的・精神障がいのある人のための就労場所を提供し、社会福祉の増進に貢献されている。

特別功労表彰

氏名 (敬称略)	明石 光伸
役職等	別府市環境保全審議会会長 前別府市教育委員会委員
功績内容	<p>平成6年に別府市環境保全審議会委員に就任し、平成12年からは会長として審議会を統括し各委員の意見集約に努められ、環境に関する重要事項の調査審議に寄与された。</p> <p>また、17年にわたり別府市教育委員会委員として別府市の教育の推進に貢献され、医学博士としての卓越した見識から児童生徒の健康面、栄養面について発言されるなど、常に市民目線に立ち、住民ニーズに合った柔軟な体制の確立や教育内容の充実に努められた。</p>

氏名 (敬称略)	中島 一志
役職等	南立石校区青少年育成協議会会長 前別府市青少年育成市民会議会長
功績内容	<p>平成20年から別府市青少年育成市民会議会長として、市内17校(地)区の青少年育成協議会が地域の実情に即した特色ある活動を展開できるよう尽力され、青少年の健全育成に寄与された。また南立石校区青少年育成協議会会長としてどんどこ焼きを開始し、青少年と大人、各町のつながりの場を提供し、地域づくりの推進に努められた。</p>

氏名 (敬称略)	河野 章
役職等	別府市管工事協同組合相談役 前別府市管工事協同組合代表理事
功績内容	<p>平成13年に別府市管工事協同組合の理事に就任し、業界のイメージアップや地元産業の活性化に尽力された。平成23年からは代表理事として円滑な運営の確保に努めながら、労働者の雇用促進や雇用環境改善に中心的な役割を果たし多大な貢献を果たすと共に、別府市の産業経済振興にも寄与された。</p>

功労表彰

自治部門 (5名)

(敬称略・順不同)

氏 名	功 績 内 容
佐藤 静	13年にわたり人権擁護委員として高齢者・障がい者人権委員会に所属し、社会的弱者に対する人権問題に係る事案に対し、人権相談、人権啓発、人権救済など各種の人権擁護活動に従事された。また、別府市市民相談においてさまざまな悩みを抱える方への援助に尽力された。
諸岡 幸一	平成18年からスパランド豊海自治委員として、住民福祉の向上、安全・安心なまちづくりに努められている。平成26年から平成29年までは自治委員会亀川地区副支部長として、スパランド豊海のみならず14町から成る亀川地区全体の地域融和に大きく貢献されている。
星野 隆昭	平成18年から光町1区自治委員として、住民福祉の向上、安全・安心なまちづくりに努められている。
伊東 一仁	平成18年から亀川浜田町自治委員として、住民福祉の向上、安全・安心なまちづくりに努められている。
幸 勝美	平成18年から石垣東一丁目自治委員として、住民福祉の向上、安全・安心なまちづくりに努められている。平成22年から自治委員会境川地区副支部長、平成28年からは支部長として、石垣東一丁目のみならず9町から成る境川地区全体の地域融和に大きく貢献されている。

公共福祉部門 (30名・2団体)

(敬称略・順不同)

氏 名	功 績 内 容
岩尾 一郎	竹工芸訓練センターを卒業後、父に師事し家業である岩尾竹籃に入社。長年の経験により卓越した技能を有している。また、平成5年から別府竹製品協同組合の理事、平成9年からは専務理事、平成24年からは理事長として組合員をまとめ、多くの事業を手がけた。「後継者育成事業」では講師として後進の育成に努められ、近年では地元に着し竹産業に就労する者も増えてきており、その功績は多大である。
竹本 善次	平成18年から大分県日本調理技能士会理事長、平成22年からは副会長として、常に技能の向上と創意工夫に努め、業界からも高い評価を受けている。若年者の技術指導にも貢献され、高齢者施設の慰問や小中高等学校のものづくり体験教室、食育推進講座にも取り組んでいる。また、伝統文化である包丁式の継承及び地元食材の活用における技術向上、観光振興のため日々尽力されている。
瑞木 一博	平成11年に別府商工会議所議員に就任して以来、地域商工業発展のため献身的に努力されている。また、11年にわたり、常議員や委員長などの要職を歴任されている。

功労表彰

公共福祉部門 (つづき)

(敬称略・順不同)

中野 大	平成17年に別府商工会議所議員に就任して以来、地域商工業発展のため献身的に努力されている。また、10年にわたり、副会頭や常議員、委員長などの要職を歴任されている。
伊藤 秀憲	平成20年に別府商工会議所議員に就任して以来、地域商工業発展のため献身的に努力されている。また、10年にわたり、副会頭や常議員、部会長、委員長などの要職を歴任されている。
竹内 孝夫	平成18年に別府商工会議所議員に就任して以来、地域商工業発展のため献身的に努力されている。また、10年にわたり、常議員や部会長などの要職を歴任されている。
姫野 正康	平成13年に保護司の委嘱を受けて以来、多くの保護観察対象者の更生援助に尽力されている。また、「社会を明るくする運動」等の地域における防犯啓発活動にも積極的に参加し、別府保護司会北分区会長兼広報部長として別府保護司会の事業推進に貢献されている。
村田 広子	平成13年に保護司の委嘱を受けて以来、多くの保護観察対象者の更生援助に尽力されている。また、「社会を明るくする運動」等の地域における防犯啓発活動にも積極的に参加し、別府保護司会広報部員として広報活動に専心、保護司会活動の円滑な事業運営に貢献されている。
上野 浩道	平成13年に保護司の委嘱を受けて以来、多くの保護観察対象者の更生援助に尽力されている。また、「社会を明るくする運動」等の地域における防犯啓発活動にも積極的に参加し、別府保護司会総務部員として保護司会の各種事業促進に貢献されている。
清水 一正	平成17年から障害者を対象とした水泳の指導をボランティアで行っている。参加者が県の障害者スポーツ大会で好成績を残すなど、障害者の社会参加に寄与されている。また、指導において水中での有酸素運動を取り入れ、体力増強や健康維持の指導に努められている。
脇 英機	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上に努められている。現在は、世帯更正部会部長として、部会の運営に尽力されている。
高橋 洋明	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上に努められている。現在は、別府市民生委員児童委員協議会会長として、254名の民生委員児童委員が円滑に活動できるよう運営に尽力されている。さらに、鶴見地区民生委員児童委員協議会会長として、単位民生委員児童委員協議会の運営にも貢献されている。

功労表彰

公共福祉部門 (つづき)

(敬称略・順不同)

三浦 康法	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上に努められている。現在は、東山地区民生委員児童委員協議会副会長として、単位民生委員児童委員協議会の運営に尽力されている。
野河 和子	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上に努められている。現在は、朝日地区民生委員児童委員協議会副会長として、単位民生委員児童委員協議会の運営に尽力されている。
菊 隆志	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上に努められている。現在は、在宅福祉部会部長として、部会の運営に尽力されている。
上野 美好	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上に努められている。現在は、浜脇地区民生委員児童委員協議会会長として、単位民生委員児童委員協議会の運営に尽力されている。
石見 友子	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上に努められている。現在は、児童母子父子部会部長として、部会の運営に尽力されている。
大山 直	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上に努められている。現在は、亀川地区民生委員児童委員協議会会長として、単位民生委員児童委員協議会の運営に尽力されている。
後藤 正己	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上に努められている。現在は、南地区民生委員児童委員協議会会長として、単位民生委員児童委員協議会の運営に尽力されている。
藤原 信一	平成20年から大分県交通安全協会別府支部委員、現在は副支部長として犯罪や反社会組織から市民を守る活動や交通安全活動を行い、市民の安心・安全のために長きにわたり貢献されている。
村井 良一	昭和63年に消防団員を拝命、平成13年に班長、平成21年に部長へ昇任し、現在は第12分団の部長として、団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、地域住民との連携を保ち、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努められ、被害の軽減を図っている。

功労表彰

公共福祉部門 (つづき)

(敬称略・順不同)

園田 喜久男	昭和63年に消防団員を拝命、平成12年に班長、平成21年に部長へ昇任し、現在は第17分団の部長として、団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、地域住民との連携を保ち、地域の会合等あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民からの信頼を集めている。
齊藤 金次	昭和63年に消防団員を拝命、平成17年に班長、平成23年に部長へ昇任し、現在第14分団の部長として団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、常に出火防止の必要性を痛感し、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努めている。
後藤 辰典	昭和62年に消防団員を拝命、平成11年に班長、平成12年に部長、平成25年に副分団長へ昇任し、現在は第17分団の副分団長として部下団員を掌握し、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図るなど、団員はもちろん広く地域住民の信頼を集めている。また、各種会合等に率先して出席し地域住民に対して火災予防の啓発に努め、被害の軽減を図っている。
園田 文丸	昭和62年に消防団員を拝命、平成11年に班長、平成14年に部長、平成29年に副分団長へ昇任し、現在は第17分団の副分団長として部下団員を掌握し、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図るなど、団員はもちろん広く地域住民の信頼を集めている。また、地域住民に対してもあらゆる機会をとらえ火災予防の啓発に努めている。
首藤 哲生	昭和63年に消防団員を拝命、平成16年に班長、平成22年に部長、平成25年に副分団長へ昇任し、現在は第15分団の副分団長として、団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、出火防止の必要性を痛感し、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努めている。
平子 政実	昭和63年に消防団員を拝命、平成17年に班長へ昇任し、現在第10分団2部の班長として、団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、地域住民との連携を保ち、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民からの信頼を集めている。
小野 文夫	昭和62年に消防団員を拝命、平成12年に班長、平成29年に部長へ昇任し、現在は第17分団の部長として団員相互の融和に尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図るなど、団員はもちろん広く地域住民の信頼を集めている。また、地域等の会合時に火災予防の啓発に努めている。
直野 耕治	昭和63年に消防団員を拝命、平成11年に班長、平成18年に部長、平成26年に副分団長へ昇任し、現在は第5分団の副分団長として部下団員を掌握し、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図るなど、団員はもちろん広く地域住民の信頼を集めている。また、地域住民との連携を保ち、各種会合等の機会をとらえて火災予防の啓発に努めている。
八坂 憲一	昭和62年に消防団員を拝命、平成12年に班長、平成17年に部長、平成23年に副分団長へ昇任し、現在は第1分団の副分団長として立場をよく理解し、部下団員を掌握し、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、あらゆる機会をとらえ火災予防の啓発に努め、被害の軽減を図っている。

功労表彰

公共福祉部門 (つづき)

(敬称略・順不同)

別府竹製品協同組合	昭和54年に全国の「伝統的工芸品産業」として指定を受けた「別府竹細工」の産地組合として普及・発展に尽力し、若手竹工芸家の技術指導を行うなど技術の伝承に努められた。また、訪れる観光客に竹細工の美しさを楽しんでもらうため、市役所や駅構内などへの装飾や作品展示を手がけるなど、別府市を代表する地場産業である竹産業の牽引だけでなく、観光浮揚にも多大な貢献をされている。
別府発達医療センター ボランティアの会	別府発達医療センターが開講したボランティア講座を受講した方々を中心となり、24年以上の長きにわたり「別府整肢園」をはじめとする障がい児・者施設等で様々な活動をし、福祉に寄与されている。主な活動は週2回開館する「おもちゃとしょかん“もくば”」の運営で、会員が交代で担当し、来館した子どもたちとの交流や見守り、玩具の貸出しや手作り玩具の製作・補修を行っている。また、市内の清掃奉仕活動等、地域に根ざした献身的なボランティア活動を通して地域に貢献されている。

教育・文化・スポーツ部門 (1名・1団体)

(敬称略・順不同)

氏名	功績内容
三木 武夫	26年にわたり別府市剣道連盟下の指導者として、少年剣士の育成と技術の向上発展に尽力されている。多くの剣士を輩出し、剣道の普及、発展に貢献された功績は多大である。現在は別府市剣道連盟理事長を務められている。
別府市老人クラブ連合会 荘園 荘寿会	15年にわたり荘寿会有志で別府支援学校鶴見校の七夕行事に参加している。七夕の飾り付けや発表会の観賞を生徒と共に行うなど、和やかなふれあいの場づくりに貢献され、青少年の健全育成に寄与されている。

市民活動部門 (2名)

(敬称略・順不同)

氏名	功績内容
藤本 広子	20年にわたり四の湯公園の花壇の手入れを行い、隣接する四の湯温泉へ訪れる多くの利用者に癒しを与えている。また、長年にわたり単位老人クラブである「白寿クラブ『輪』」の会計としてクラブの運営と活性化に尽力されている。
岩崎 俊臣	長年にわたり大和温泉組合組合長を務め、組合の発展に貢献された。また、温泉の利用者が気持ちよく入浴できるよう率先して清掃活動を行うなど、地域住民のために尽力し、信頼を集めている。